

愛知県議会議員

— 自民党1期 —

神谷 和利



俳優・柳生博さん(享年85歳)の訃報が4月21日、ニュースで流れました。心よりの冥福を祈ります。柳生さんとは平成27年6月に豊田市自然観察の森開設25周年及び新ネイチャーセンター開館5

昭和36年1月2日生まれ。豊田市柿本町3-34。愛知県議会警察委員会委員。同産業イノベーション推進特別委員会委員。自民党愛知県第11選挙区副支部長。元豊田市議会議長。愛知県森林協会副会長。豊田市少林寺拳法協会会長。ボイスカウト豊田地区副協議会長。

俳優 柳生博さんを偲ぶ

周年の記念講演でお会いしました。日本野鳥の会会長を務める柳生さんは、東海丘陵湧水湿地群(矢並湿地、上高湿地、恩真寺湿地)のラムサール条約湿地登録を成し遂げた立役者の一人です。講演で

は家族で移住した八ヶ岳山麓における森づくりにまつわるエピソードのラムサール湿地登録に貢献

ドから、自然や湿地に対する思いが語られました。この時は、ご長

きという意見が噴出しました。しかし設計コンペ方式が決まった以上、大幅な設計変更は不可能で、内装等は極力木質化を図ることに落ち着きました。豊田市が公共施設の木造・木質化で、全国でも先進的に取り組むきっかけとなった施設かもしれません。

男で八ヶ岳倶楽部代表の園芸家・慎吾氏を咽頭がんで亡くして僅か一か月後のこと。47歳の若さで先立った慎吾さんの生涯を語る時、

自然に溶け込んだ特徴的なデザインで数々の建築賞をいただきました。完成2年前に建物の設計が発表された時、市議会自民クラブ議員

柳生博さんを偲んで自然観察の森を歩いてみようと思います。そして彼が愛してやまなかった矢並湿地、昨年コロナで中止となったその一般公開が今年こそ再開されることを祈ります。

講演会場の新ネイ

た木造建築に変更すべ